

高野山 奥之院(高野町)



高野山の僧侶たち(高野町)



# 高野山

1200年という長い時を超え、  
弘法大師・空海の祈りが今も聞こえる。

高野山 根本大塔(高野町)



高野山 大門(高野町)



高野山 金剛峯寺(高野町)



高野山 慈尊院(高野町)



標高900mほどの8つの峰々が蓮華の花びらのように取り囲む山上盆地に、117もの寺院が建ち並ぶ。そこが、高野山と総称される場所だ。高野山は、弘法大師・空海が開いた日本を代表する真言密教の聖地。空海は、密教道場を開くにふさわしい地として、都の喧噪から遠く離れ、雄大な自然に抱かれたこの場所を選んだ。そして彼はここで、国や社会の安泰を祈った。迷える人、苦しむ人を救うために祈り、真言密教の基盤の強化に尽くした空海だが、病を得て、835(承和2)年に永遠の禅定に入ったとされている。

世界遺産としての高野山の登録資産は、以下の施設からなる。真言密教の根本道場として、空海が816(弘仁7)年に創建した金剛峯寺。金剛峯寺の建設・運営の便宜を図る政所として山下に建立された慈尊院。金剛峯寺の荘園であった官省符荘の鎮守社として建立された丹生官省符神社。金剛峯寺と慈尊院のほぼ中間点の天野盆地にある丹生都比売神社。それぞれが参詣道である高野山町石道で結ばれているのだ。

高野山には、奥之院と壇上伽藍と呼ばれる二つの聖地があり、今も人々の信仰を集めている。前者は、空海が入定した御廟があり、最も神聖な霊域だ。後者は、空海が最初に整備を始めた場所。境内には根本大塔、金堂など19の建造物が建ち並ぶ。